

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2022年3月30日

商工中金

水戸信用金庫との共同アレンジャー第1号案件！ 完全人工光型植物工場を建設する株式会社ベジタブルテック様に対して、 地域金融機関と協調し、総額10億円のシンジケートローンを組成

商工中金は、シンジケートローンなどの取り組みを通じて、地域金融機関と連携し、中小企業の金融の円滑化を図り、地域経済の発展に貢献しています。

商工中金（水戸支店）は、株式会社ベジタブルテック様（本社：茨城県土浦市、代表者：植田一成様）に対し、総額10億円のシンジケートローンを組成しました。本シンジケートローンは、商工中金と水戸信用金庫（※1）が共同でアレンジャーを務め、千葉銀行、東日本銀行が参加し、地域金融機関との協調により、その組成が実現したものです。

（※1）2022年1月、商工中金と水戸信用金庫は、「シンジケートローン業務」に関する協力文書を締結しています。

同社は、業務用レタスの生産・販売業者で完全人工光型植物工場を運営しています。茨城県那珂市内の植物工場にて、食品メーカー向けに特化した業務用の大株レタスを生産。天候に左右されない植物工場内で、徹底した衛生管理された環境下で生産されたクリーンなレタスを安定的に供給することで、お取引先から高い信頼を得ています。

今回、同社は、本シンジケートローンにより調達した資金を活用し、県内最大規模の新工場の建設を計画しました。生産能力を拡張することで、新工場と一大消費地である首都圏一円までの良好なアクセスを活かし、新鮮なレタスの安定供給需要に応えていきます。

商工中金は、現地訪問や経営者へのヒアリングを通じた綿密な事業性評価を Value up レポート（※2）にまとめ、同社の強みと財務上の課題を共有。同社の取り組みが、茨城県の地場産業である農業の発展や地域経済を活性化に貢献するものと判断し、地域金融機関と協調して、本シンジケートローンを組成しました。

（※2）お客さまとの信頼関係を深め、課題やニーズを共有し、企業価値を高めるために作成する事業性評価のツール

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上を、地域金融機関や関係機関と連携しサポートすることで、地域活性化に貢献してまいります。

【本シンジケートローンの概要】

組成金額	10億円
共同アレンジャー	水戸信用金庫 4億円
共同アレンジャー兼エージェント	商工中金 3億5,000万円
参加金融機関	千葉銀行 1億5,000万円 東日本銀行 1億円
契約締結日	2022年3月30日



【株式会社ベジタブルテック様の概要】

所在地	茨城県土浦市東若松町 3988-3	資本金	3,000万円
代表者	植田一成様	従業員数	30名(2022年3月現在)
業種	業務加工用レタスの生産・販売業	設立	2018年1月

【新工場完成イメージ図】